

平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

柳町地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

1 全事業共通

地域の現状と課題について

- ①地域の高齢化に伴う様々な部分での課題の把握に努める。
：認知症高齢者の生活環境での課題（老老介護・介護者の問題等）
相談内容によっては、ご本人の問題もあるが取り巻く家族にも問題があるケースが増えてきている為、ケアプラザ協力医や行政とも連携を取りながらより良い支援へとつなげる。
- ②外部との交流困難な方への支援を継続していく。
：地域の民生委員と連携し、独居高齢者の訪問等で安否確認を定期的に行いながら、ケアプラザ内の企画や出張講座等のチラシも配布し、情報を提供し参加を促す。
- ③民生委員とのコミュニケーション（情報の共有）
：地域の民生委員会議に可能な限り参加し、情報の収集に努める。
：地域ケア会議等では、地域からの様々な情報の収集を行い、課題内容によっては専門職を交えた質の高い地域ケア会議としていく。
- ④貸館に関しては、抽選等でスムーズな貸館管理を行う。
：夜間の貸館利用率を上げる為、地域の方々の要望等を確認し新企画を提示する。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- 地域の身近な相談窓口として、高齢者・障害・子ども等様々な分野の相談に応じ、必要な機関に繋げたり、情報提供を行ったりしていく。
- 広報誌等を通して、ケアプラザで主催する事業・講演会などの情報を様々な世代に提供する。
- 子どもから大人、障害児者を含めた異世代交流の場となるよう支援する。

(2) 各事業の連携

- 定例で情報交換を中心とした会議を実施し、連携を図る。出張講座等の事業に活用する。
- 共催で認知症サポーター養成講座等を開催する。
- 地域活動交流事業の事業を案内し、参加に繋げる中で見守りを行いながら、必要に応じて情報共有を行う。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 各事業、職員に欠員がないよう、人員を配置する。
- 法人内研修（階層別研修・人権研修等）・専門職研修等に積極的に参加し、報告書を提出・回覧することで内容を共有する。
- ケアプラザ研修委員を配置し、効率的な研修年間計画を作成・実施することで、職員全員のスキルアップに繋げる。
- 利用者・事業者を問わず、公正・中立性を確保するための取り組みを継続する。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 地域で開催される行事・お祭り・会議等に積極的に参加し、地域の方々との交流や地域ケアプラザへのご意見・ご要望等を把握し、ケアプラザとして支援出来ることを模索していく。
- 地域ケアプラザの広報誌等を地域に配布することにより、専門分野での講演会や介護予防講座などを地域の方々に発信し、ネットワークの構築に繋げる。

(5) 区行政との協働

- 地域住民・民生委員からの情報提供により、地域の課題について内容を把握するよう努める。状況によっては行政と連携を取りながら、課題解決への取り組みを行う。
- 地域の方々からのご意見・要望・苦情等には適切に対応する。必要に応じて行政からの指示を仰ぎながら、課題解決に向けての対応を心がける。
- 地域福祉保健計画に沿った地域づくりができるよう、区役所や関係機関と連携を図る。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 地域のさまざまな方にケアプラザを利用していただけるような自主事業を企画・実施する。
- 小学生対象、男性向けの事業を検討する。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 団体交流会にて、夜間の利用を提案する。
- 広報紙の団体紹介コーナーで、登録団体の活動内容の紹介、メンバー募集などを掲載する。2階情報ラウンジの「団体メンバー募集」コーナーの整備を行い、見やすい環境とする。
- デイサービス、自主事業等での団体の発表の場、自主事業のボランティア活動への調整を行う。自主事業のボランティア活動にも積極的に声をかける。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 広報紙、事業チラシ、掲示板等でボランティア活動を呼びかける。また、登録団体、近隣の学生へボランティア活動の声掛けを行う。もりのお茶の間でのボランティア活動の支援を行う。
- ケアプラザでボランティア活動をしている方を対象に、ボランティア交流会（感謝会）を開催し、交流を深める。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地域活動へ積極的に参加し、情報収集を行い、情報をもとに事業を企画・実施する。
- 広報紙・事業チラシ・インターネットを通して、地域に情報を発信する。また、地域の行事等も広報する。
- 利用団体間の交流と情報交換の場として、団体交流会を開催する。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 生活支援 Co、地域活動交流 Co、包括 3 職種との連携会議を定期的に行い、包括や地域交流事業との協働や役割分担などを協議し、地域のニーズ把握やサービス開拓のアプローチについての共通認識を持つ。
- 区役所・区社協、他のケアプラザ等と生活支援体制整備事業推進に当たってのノウハウを共有し、担当エリアに活かせるか検討する。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 地域ケアプラザに寄せられた相談をもとに、顕在的・潜在的なニーズを探り、生活課題・ニーズの把握を行う。
- 担当エリアを巡回し、住宅状況から外出や買い物困難・引きこもりなどの生活ニーズが出てきそうな住宅や地域を具体的に把握する。
- 住民主体の地域活動・生活支援サービスを提供している事業所を把握し、リストの見直しを行い、ケアプラザ内で共有する。

(3) 連携・協議の場

- 地域での連携・協議の場を把握し、機会を捉えて参加する。その中で地域の目指す方向性を探り、地域と共有できるよう心掛ける。
- 地域の方との関係づくりを第一に、必要な生活支援サービス創出に向けて土台作りを行う。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 区役所・区社協・他の地域ケアプラザ等と情報共有を行い、より広い圏域での共通の課題と担当圏域の課題との関連性を探っていく。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- 1回/月、その他必要時、多職種で様々な視点からの検討を行い、連携を図りながら問題解決に向けて取り組む。
- 個別課題から地域の課題を発掘し、問題解決を図るため、個別ケース地域ケア会議を3回/年、包括レベル地域ケア会議を1/年実施する。地域ケア会議を通して、個別ケース課題の検討を多職種協働で実施することで、個別課題から地域の課題発掘に努め、支援体制の構築を目指す。
- 地域ケア会議や地域の連絡会等を通して、地域の社会資源やネットワークづくりに取り組む。今まで実施した地域ケア会議を振り返り、課題整理を行う。
- 日頃から関係機関と連携を図る中で関係づくりを行い、協力体制の構築を図る。

② 実態把握

- 区の高齢者支援担当との連絡会を毎月実施し、地区の状況や相談ケースについて情報交換・情報共有を行う。こまめに連絡を取り合い、必要に応じて検討を行い、連携を図って対応する。
- 民生委員、自治会、老人会の方々との関係づくりを行い、地域の高齢者の情報を把握する。それぞれの会合に1回/年は参加するよう努める。その中で地域包括支援センターの役割を周知し、相談しやすい状況を作る。
- 地域の会合等に参加する中で、地域の方や高齢者から話を伺い、ニーズや課題の把握に努める。また、地域の方が気になる高齢者の把握・介入に繋げる。

③ 総合相談支援

- 地域の高齢者が、住み慣れた地域でご本人が望む生活を続けられるよう、様々な相談に応じ、必要な情報提供を行う。介護保険、医療、インフォーマルサービス等の支援にスムーズに繋がるよう努める。
- 相談から必要な支援への移行ができるよう、ワンストップサービス窓口としての機能を果たす。
- 地域活動交流事業・生活支援体制整備事業との連携を図りつつ、機会を捉えて地域に赴き、地域の身近な相談窓口としての役割を周知する。相談しやすい状況を作るために、顔の見える関係づくりを積極的に行う。
- 区や福祉保健関係者、関係機関と日頃から関係作りを行い、必要な情報共有を行いながら、連携して包括的支援を行う。
- 直接的な支援に繋がらないケースについても、定期的に状況を確認しながら見守り等のフォローを行う。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 権利が侵害されていることに気づきにくい方々、自己決定に基づく契約が難しい方々の権利を守るために、本人の意志による自己決定かを様々な状況から見極め、権利が侵害されないよう適切に介入を行う。必要に応じてあんしんセンターや成年後見制度などの支援に繋げる。
- 成年後見サポートネットに参加し、他職種との連携・情報共有を図る。困難ケースについては専門家に相談し、必要時は連携を取りながら適切に支援する。
- 年1回、成年後見制度についての講演会を開催し、周知を図る。必要と思われる方

には申し立ての支援を行う。地域での講座などでも周知する。
○年1回消費者問題について講座を開催し、掲示物に被害状況を載せることで周知を図り、被害の防止に努める。被害の報告を受けた際は、状況に応じて警察・消費者センターなどへの相談・報告を行う。

②高齢者虐待への対応

- 虐待されている自覚がなく、自ら助けを求めにくい高齢者の方々が安心して安全に生活することができるよう、区や関係機関の方々と連携して問題に取り組む。
- 日頃から区やサービス事業者、民生委員等関係機関との関係づくりや情報交換を行い、問題の早期発見につながるよう努め、問題が発見された際は区と連携を取りながら迅速に対応する。
- 介護者が孤立した状態にならないよう介護者のつどいを毎月開催し、同じような境遇の方と話し合いを持つことや、必要な情報を得ることができるよう、情報提供や介護者の心身の負担軽減とリフレッシュを図る。必要に応じて個別にフォローする。今年度は自ら相談しにくいと思われる男性介護者のつどいを開催する。
- 広報誌等で虐待の具体的な内容について周知を図り、早めの相談に繋げる。認知症の方を介護することとかかわりが多いことを踏まえ、認知症についての講座の中でも伝える機会を設ける。

③認知症

- 地域の中で認知症を理解して支援する人々を増やし、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えるために、地域活動交流事業と共催で認知症サポーター養成講座を保育園・大学・地域等で実施する。
- 出張講座のチラシを作成し、近隣の事業所に配布する。
- はいかい高齢者SOSネットワークに参加し、関係機関との情報共有・関係づくりを行う。また、今必要と思われる方・将来的に必要と思われる方には情報提供を行い、登録を勧める。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 包括主催の講座や町内会から依頼を受けて開催する各種制度の説明会等に積極的に関わることで、介護保険制度やサービス、ケアマネジャーの役割を周知する。
- 地域の民生委員や保健活動推進委員との連携や連絡を密にしていき、情報収集を行い、ケアマネジャーに情報提供を行う。
- 総合相談窓口として地域住民が関わりやすい環境を整え、ケアマネジャー、関係機関と地域住民とのネットワーク構築の取組みに繋げる。

②医療・介護の連携推進支援

- 区内の主任ケアマネ部会と協働で、三師会と連携した様々な研修等に関わる。
- 医療機関で開催される研修に参加し、医療・介護の情報を把握し共有する。
- 訪問診療を実施している医療機関や訪問服薬指導を行っている薬局との連携を図り、連携して支援する。
- 利用者を介しての担当者会議などに可能な限り参加することで、医療や介護との密接な連携を図る。
- 協力医と連携を図り、個別ケースの検討や地域の方を対象にした医療講演会を開催する。

③ ケアマネジャー支援

- ケアマネジャーからの相談に応じ、困難ケースなどについては個別検討を行い、課題の整理・解決に向けて支援する。必要に応じて同行訪問やサービス担当者会議に同席することで状況の把握に努め、必要な支援に繋げる。
- 地域のケアマネジャーの要望を確認しながら、介護保険の最新情報や地域の状況を把握し、ケアマネジャー向けの研修に活用する。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 包括三職種協働で実施する研修会や連絡会を通して情報の共有化をはかり、地域に活かせるネットワークの構築に努める。
- 地域ケア会議を定期的実施し（個別ケース地域ケア会議3回／年、包括レベル地域ケア会議1回／年）、その中で行政・民生委員・医療機関・サービス事業所とのネットワーク構築を図り、多職種協働に繋げる。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 高齢者が要介護状態になることを防ぎ、地域で自立した生活を送るために、ご本人が望む生活を送ることができるような介護予防サービス・支援計画書を作成する。
- 委託時、委託先の居宅介護支援事業所に対して、必要に応じて介護予防ケアプラン等に関する支援・助言を行う。
- 地域のインフォーマルサービスの把握を行い、必要と思われる方へ提供できるような情報を整理する。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

○ 介護予防把握事業

地域診断の実施（柳町地域包括支援センター圏域）

診断結果から見えてきた健康課題や地域の現状や課題を把握して、次年度の目標や計画に繋げる。

○ 介護予防普及啓発事業

- ・ 介護予防講座（ロコモティブシンドローム予防のための運動講座、口腔講座、栄養講座、認知症講座）を、身近な場所で参加出来るように、地域の町内会館や集会所で実施する。町内会や民生委員等の協力を得ながら実施する。
- ・ 老人会や地域の高齢者等が集まる場所で、介護予防の講話や情報提供を行う。

○ 地域介護予防活動支援事業

- ・ 4月に元気づくりステーションを開設する。
- ・ 認知症予防自主グループ「柳町 IN コグニ」の継続的活動が出来るように、区の保健師と月2回の活動を支援する。新たなメンバーの募集等を行う。
- ・ 地域に認知症予防の自主グループがあることを介護予防講座開催時に周知する。
- ・ 認知症予防自主グループ「柳ウォーキング」の交流会活動の支援を行う。

○ 地域リハビリテーション活動支援事業

地域ケア会議へのリハビリテーション専門職の派遣を依頼し、リハビリ職を交えた地域ケア会議を開催する。

その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ①建物の設備・維持管理等に関しては、専門業者による定期的な保守管理と、職員による日々の目視点検で確認を行う。(年1回)
- ②施設内清掃は専門業者に委託する。業者が休みの場合は、職員による清掃を行い、清潔を保つ。(日・祝休み)
- ③破損部分や汚れに関しては、専門業者に相談し補修・清掃を行う。
- ④その他、空冷ヒートポンプパッケージ等の点検や送風機設備点検・換気扇点検・自動ドア点検・消防設備点検等を年1～4回実施する。

イ 効率的な運営への取組について

- ①節電に努める。廊下や使用頻度の低い場所では、可能な限り蛍光灯の本数を減らして対応する。また、貸館利用者への空調使用時の節電を心がけて頂く。
- ②トイレ等でのペーパーの使用も最小限にして頂く旨を周知徹底していく。
- ③メモ用紙・施設内回覧等に関しては裏紙を利用し、経費節減に繋げる。
- ④行政提出書類・会議等での資料は、両面印刷とする。

ウ 苦情受付体制について

- ①施設内に設置してあるご意見箱の設置場所を検討し、より多くの利用者に関心を持ってもらい、多くの意見等を求める。また、意見や要望等を書きやすい様式を用意する。
- ②苦情やご意見・要望などに対しては、内容の確認を行い速やかに対応策を検討する。(苦情内容の記録・必要に応じて法人内苦情解決第三者委員会への報告など)

エ 緊急時(防犯・防災・その他)の体制及び対応について

- ①特別避難場所・津波避難施設として、要援護者の為の備蓄品等を定期的に確認し、万全な体制を整える。
- ②防災・避難訓練を年2回行い、緊急時における職員の対応方法についての訓練(研修)を実施していく。(9月・2月)
- ③特別避難場所としてのマニュアル(介護用・医療用)の内容の周知を図る。

オ 事故防止への取組について

- ①事故防止マニュアルの見直しと周知を図る。
- ②ヒヤリハットの報告は必ず行い、内容についての報告・検討会を開催し、今後の事故防止に繋げる。(通所介護事業会議・ケアプラ会議等)
- ③運転者の免許証等は、随時提出を義務付ける。(更新時は、その都度提出を促す)
- ④事故発生時は、速やかにマニュアル通りの対応を行い、必要機関等への報告を行う。(書式の作成も行う)また、個人情報等には十分に注意を払う。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ①地域ケアプラザ個人情報漏えいチェックシートを活用し、職員全員のチェックを行い漏えい防止に繋げる（４月・９月に実施）
- ②個人情報に関する書類等は、鍵のかかる書庫や金庫に保管する。
- ③すべての施設内使用パソコンは、盗難防止対策として鍵付きワイヤーで机に固定する。
- ④ファックス使用時は、個人情報部分へマスキングし、送信時は必ず職員同士で確認を行い、誤送信等の防止に努める。
- ⑤業務終了後は、個人情報に関する書類すべて鍵のかかる書棚に保管する。

キ 情報公開への取組について

- ①法人全体のホームページがリニューアルされたことに伴い、新しい情報を積極的に地域へ発信する。
- ②施設内の掲示物の整理整頓を行い、活動や企画を提供し、参加者増に繋げる。
- ③事業チラシ等に関しては、地域の学校や町内会館に持参し、配布依頼する。また、地域での講座や研修会の際に新たな企画参加への案内を行う。

ク 人権啓発への取組について

- ①法人全体で実施される人権研修への参加
年１回実施される法人主催の人権研修に、常勤・非常勤の全職員の参加を徹底する。
やむを得ず参加できなかった職員に対しては、資料を基に研修を行う。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ①建物内の清掃やゴミの処理は、すべて専門業者に委託し清潔を保持する。
- ②施設内のごみは、すべて分別処理を行う。
- ③敷地内の植栽に関しては、年２回専門業者に依頼する。また、花壇は、認知症デイサービスの利用者と共に整備し、水やり草取り等を行い、季節ごとの花々の手入れをしながら季節を感じ、個々の心身機能の維持に繋げる。
- ④ケアプラザ周辺のゴミ拾い・ゴミ置き場の清掃を行い、美化に努める。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

包括支援センター職員 3名（うち1名が管理者兼務）
介護支援専門員 非常勤1名

《目標》

- 高齢者が要介護状態になることを防ぎ、地域で自立した生活を送るために、ご本人が望む生活を送ることができるような介護予防サービス・支援計画書を作成する。
- 委託時、委託先の居宅介護支援事業所に対して必要に応じて介護予防ケアプラン等に関する支援・助言を行う。
- 地域のインフォーマルサービスの把握を行い、必要と思われる方に提供する。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 事業者の担当地域外を訪問する必要がある場合

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 地域活動交流部門と連携を取りながら、自主事業への参加を促す。
- インフォーマルサービスについても情報提供を行い、ご本人の生きがいにつながるよう支援していく。
- 地域との連携を取ることで、見守りにつながるような関係づくりを図る。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
115	115	115	115	120	120
10月	11月	12月	1月	2月	3月
120	120	120	120	120	120

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 4名
 内訳 常勤 3名(うち1名は管理者兼務)
 非常勤 1名

《目標》

- ケアマネジメントスキルの系統的な研修を行い、ケアプラン作成時の根拠を明確に持つことができるようにする。
- インフォーマルサービスについても幅広い知識を持ち、ケアプラン作成に生かすことができるようにする。
- 他のケアマネジャーのケース把握に努め、担当不在時に対応できるようにする。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 特定事業所加算Ⅲ算定事業所として、毎週の会議を実施し、ケースの共有、支援困難ケースへの対応などを検討している。
- ケアプラザ居宅として、特に支援困難ケースについては積極的に対応するようにしている。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
95	95	98	98	101	101
10月	11月	12月	1月	2月	3月
104	104	107	107	110	110

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション
- 個別機能訓練
- 体操

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分		● 2割負担分
(要介護1)	704円	1,407円
(要介護2)	831円	1,662円
(要介護3)	963円	1,926円
(要介護4)	1,095円	2,186円
(要介護5)	1,227円	2,453円
●食費負担	700円	700円
●入浴	54円	108円
●個別機能訓練	60円	120円
●サービス提供体制強化加算	20円	39円
●介護職員処遇改善加算	所定単位に5.9%を乗じた単位で算定	

《事業実施日数》 週 7 日

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《提供時間》 9:30 ~ 16:40

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名
介護職員	9名
看護師	6名
運転手	5名

《目標》

- 利用者が充実した一日を過ごして頂けるよう、質の高いサービスを心がける。
- 利用者各人の趣味や特技を活かし、楽しい一日を過ごして頂けるようサポートする。
- 自転車こぎや、平行棒、ボールなどを活用して運動機能の向上を図る。
- 昼食献立はイベント食として（お楽しみランチ）（郷土料理）を実施し、食事を楽しんで頂く。
- 内部・外部研修を通して、職員のスキルアップを図る。（介護技術・感染症・認知症の研修）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

定期的（月に3日程度）に交流デッキの花壇を活用して、保育園児と一緒に花の苗を植えて、保育園児との交流を図る。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
700	700	700	700	700	700
10月	11月	12月	1月	2月	3月
700	700	700	700	700	700

● 介護予防通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション
- 運動器機能向上
- 体操

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分		● 2割負担分
（要支援1）	1, 766円	3, 531円
（要支援2 週一回利用）	1, 766円	3, 531円
（要支援2）	3, 621円	7, 241円
● 食費負担	700円	700円
● 運動器機能向上加算	242円	483円
● サービス提供体制強化加算		
（要支援1）	78円	155円
（要支援2 週一回利用）	78円	155円
（要支援2）	155円	309円
● 介護職員処遇改善加算	所定単位 5.9%を乗じた単位で算定	

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30~16:40

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名
介護職員	9名
看護師	6名
運転手	5名

《目標》

- 利用者に充実した一日を過ごして頂けるよう、質の高いサービスを心がける。
- 利用者各人の趣味や特技を活かし、楽しい一日を過ごして頂けるようサポートする。
- 自転車こぎや、平行棒、ボールなどを活用して運動機能の向上を図る。
- 昼食献立はイベント食として（お楽しみランチ）（郷土料理）を実施し、食事を楽しんで頂く。
- 内部・外部研修を通して、職員のスキルアップを図る。（介護技術・感染症・認知症の研修）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

定期的（月に3日程度）に交流デッキの花壇を活用して、保育園児と一緒に花の苗を植えて保育園児との交流を図る。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
50	50	50	50	50	50
10月	11月	12月	1月	2月	3月
50	50	50	50	50	50

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション
- 体操

《実費負担》

● 1割負担分		● 2割負担分
(要介護1)	1, 072円	2, 144円
(要介護2)	1, 188円	2, 376円
(要介護3)	1, 305円	2, 609円
(要介護4)	1, 422円	2, 844円
(要介護5)	1, 539円	3, 077円
● 食費負担	700円	700円
● 入浴	55円	109円
● サービス提供体制強化加算	20円	39円
● 介護職員処遇改善加算	所定単位に10.4%を乗じた単位で算定	

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:40

《職員体制》

管理者	1名(常勤)
生活相談員	3名(常勤2、非常勤1)
介護職員	8名(常勤兼務2、非常勤6)
看護師	6名(非常勤6)
運転手	5名(非常勤5)

《目標》

- 各個人を尊重し、気持ちに寄り添ったきめ細やかに対応する。
- 身体を動かす事で脳の活性化に繋げ、長く在宅で過ごして頂けるよう支援する。
- 会議でのケースカンファレンスにより情報を共有し、常に適切なケアをするよう努める。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- 季節を感じられる、屋外での歩行訓練やおやつレク、園芸活動を行う。
- 個人の趣味嗜好を活かした手作業を行い、残存機能を維持できるよう支援する。
- 家族会を年1回開催し、施設・プログラムの見学、意見交換を行う。

《利用者目標(延べ人数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
250	250	250	250	250	250
10月	11月	12月	1月	2月	3月
250	250	250	250	250	250

● 介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション
- 体操

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分		● 2割負担分
（要支援1）	927円	1,854円
（要支援2）	1,036円	2,072円
● 食費負担	700円	700円
● 入浴	55円	109円
● サービス提供体制強化加算	20円	39円
● 介護職員処遇改善加算	所定単位に10.4%を乗じた単位で算定	

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:40

《職員体制》

管理者	1名（常勤）
生活相談員	3名（常勤2、非常勤1）
介護職員	8名（常勤兼務2、非常勤6）
看護師	5名（非常勤5）
運転手	5名（非常勤4）

《目標》

- 各個人を尊重し、気持ちに寄り添ったきめの細やかな対応をしていく。
- 身体を動かす事で脳の活性化に繋げ、長く在宅で過ごして頂けるよう支援する。
- 会議でのケースカンファレンスにより情報を共有し、常に適切なケアをするよう努める。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 季節を感じられる、屋外での歩行訓練やおやつレク、園芸活動を行う。
- 個人の趣味嗜好を活かした手作業を行い、残存機能を維持できるよう支援する。
- 家族会を年1回開催し、施設・プログラムの見学、意見交換を行う。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
8	8	8	8	8	8
10月	11月	12月	1月	2月	3月
8	8	8	8	8	8

平成29年度 「横浜市柳町地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,435,613	0	17,435,613		17,435,613	横浜市より（施設使用料相当額を除く）
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	440,000		440,000		440,000	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	10,000	0	10,000	0	10,000	
印刷代	10,000		10,000		10,000	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	0	0	0	0	0	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	0	0	0	0	0	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	17,885,613	0	17,885,613	0	17,885,613	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,984,100	0	10,984,100	0	10,984,100	
本俸	7,100,000		7,100,000	0	7,100,000	
社会保険料	840,000		840,000	0	840,000	
手当計	2,879,000		2,879,000	0	2,879,000	
健康診断費	25,000		25,000	0	25,000	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	0	6,000	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	134,100		134,100	0	134,100	
事務費	2,049,513	0	2,049,513	0	2,049,513	
旅費	20,000		20,000	0	20,000	
消耗品費	180,000		180,000	0	180,000	
会議ठी費	0		0	0	0	
印刷製本費	280,000		280,000	0	280,000	
通信費	350,000		350,000	0	350,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	140,000		140,000	0	140,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	80,000		80,000	0	80,000	
職員等研修費	10,000		10,000	0	10,000	
振込手数料	1,000		1,000	0	1,000	
リース料	86,000		86,000	0	86,000	
手数料	19,000		19,000	0	19,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	883,513		883,513	0	883,513	
事業費	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
運営協議会経費	35,000		35,000	0	35,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	965,000		965,000	0	965,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	3,052,000	0	3,052,000	0	3,052,000	
建築物・建築設備点検	39,000		39,000	0	39,000	指定額
光熱水費	1,123,000	0	1,123,000	0	1,123,000	
電気料金	914,000		914,000		914,000	
ガス料金	16,000		16,000		16,000	
水道料金	193,000		193,000		193,000	
清掃費	846,000		846,000	0	846,000	
修繕費	100,000	0	100,000	0	100,000	
機械警備費	48,000		48,000	0	48,000	
設備保全費	846,000	0	846,000	0	846,000	
空調衛生設備保守	486,000		486,000	0	486,000	
消防設備保守	92,000		92,000	0	92,000	
電気設備保守	63,000		63,000	0	63,000	
害虫駆除清掃保守	40,000		40,000	0	40,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	165,000		165,000	0	165,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	50,000		50,000	0	50,000	
公租公課	800,000	0	800,000	0	800,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	800,000		800,000	0	800,000	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	17,885,613	0	17,885,613	0	17,885,613	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「〇〇（施設名）」 収支予算書及び報告書（特別会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	22,702,802		22,702,802		22,702,802	横浜市より
指定管理料（介護予防）	148,000		148,000		148,000	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	介護保険収入等充当分
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	15,000		15,000		15,000	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（ ）	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
収入合計	28,654,802	0	28,654,802	0	28,654,802	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,968,000	0	25,968,000	0	25,968,000	
本俸	13,340,000		13,340,000		13,340,000	
社会保険料	3,180,000		3,180,000		3,180,000	
手当計	8,920,000		8,920,000		8,920,000	
健康診断費	44,000		44,000		44,000	
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000		24,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他	460,000		460,000		460,000	
事務費	1,078,802	0	1,078,802	0	1,078,802	
旅費	20,000		20,000		20,000	
消耗品費	55,000		55,000		55,000	
会議ठीい費	0		0		0	
印刷製本費	90,000		90,000		90,000	
通信費	180,000		180,000		180,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	110,000		110,000		110,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	45,000		45,000		45,000	
職員等研修費	15,000		15,000		15,000	
振込手数料	11,000		11,000		11,000	
リース料	360,000		360,000		360,000	
手数料	35,000		35,000		35,000	
地域協力費	30,000		30,000		30,000	
その他	127,802		127,802		127,802	
事業費	702,500	0	702,500	0	702,500	
協力医	210,000		210,000	0	210,000	指定額
介護予防事業	148,000		148,000	0	148,000	
生活支援体制整備事業費	204,500		204,500	0	204,500	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	140,000		140,000	0	140,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	905,500	0	905,500	0	905,500	
建築物・建築設備点検	11,000		11,000	0	11,000	指定額
光熱水費	299,500	0	299,500	0	299,500	
電気料金	245,000		245,000		245,000	
ガス料金	4,500		4,500		4,500	
水道料金	50,000		50,000		50,000	
清掃費	226,000		226,000	0	226,000	
修繕費	100,000		100,000	0	100,000	
機械整備費	13,000		13,000	0	13,000	
設備保全費	226,000	0	226,000	0	226,000	
空調衛生設備保守	129,000		129,000	0	129,000	
消防設備保守	25,000		25,000	0	25,000	
電気設備保守	17,000		17,000	0	17,000	
害虫駆除清掃保守	11,000		11,000	0	11,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	44,000		44,000	0	44,000	
共益費			0	0	0	
その他	30,000		30,000	0	30,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	28,654,802	0	28,654,802	0	28,654,802	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 自主事業計画書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
会話カフェ	<p>(目的) 高齢者の居場所づくりと見守りを目的としたお茶のみサロン。事前予約なしで気軽に立ち寄れる場。</p> <p>(内容) お菓子、飲み物（お代わり自由）と催し物と年1回のゲーム大会、ケアプラザの事業紹介、ちょこっと情報等。事前予約なし。</p>	毎月15日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あかちゃんといっしょ	<p>(目的) 1歳前後の子どもと養育者を対象にした子育て講座。母親同士の交流・繋がり作りを目的とする。</p> <p>(内容) 10:00～11:00講座 偶数月は11:15頃からどんぐりころちゃんの読み聞かせ その後14:00までフリースペース 材料費等発生する場合は有料 見守りを六浦地区、六浦東地区の保健推進員に依頼。</p>	毎月第三金曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お食事会 ほっとすペース	<p>(目的) 高齢者の食を通じた健康づくり、つながり作りのためにNPO法人ワーカーズ・コレクティブコンパスとの共催のお食事会。</p> <p>(内容) 安心安全な食材を使った食事の後に催し物、地域交流、包括からのお知らせ。参加費600円(食事代として)、定員25名。 今年度から申込者多数の場合は抽選。</p>	毎月第一木曜日 計12回 祝日の場合は週をずらして開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フラワー アレンジメント	<p>(目的) 地域の高齢者を対象に心身機能の回復と花と触れ合うことでのリラクゼーション効果、またケアプラザが地域との接点、交流の場になることを目的とする。</p> <p>(内容) 毎月季節に即したテーマのアレンジを行う。アレンジ後は全員分を並べ写真撮影をし、お互いのアレンジを確認しあう。 参加者多いため、自主グループ化を進める。</p>	毎月第一火曜日 計12回 祝日、12月等は日程を多少変更する

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障害児者余暇支援 おひさま広場	<p>(目的) 家庭と学校、施設、作業所以外に地域での活動が少ない障害のある方を対象にケアプラザで余暇活動の機会を提供する。</p> <p>(内容) 活動プログラムを2か月おきに3B体操、工作で開催。創学館高校ボランティア委員会へボランティア依頼している。 8月は13時30分から開催し、おやつ作りと3B体操を行う。</p>	毎月第二火曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとランチ	<p>(目的) 地域の方対象のお食事会。今年度もエリア内の希望される町内会館をお借りし、その町内の方へお蕎麦を提供する。ケアプラザでの開催時は登録団体からボランティアを募り活動していただく。</p> <p>(内容) お蕎麦はケアプラザ登録団体の蕎麦打ちグループに依頼。そば打ちの実演も披露する。ケアプラザでの開催時は登録団体へカレー作り等を依頼する。</p>	計5回 【内訳】 2回 ケアプラザ 3回 町内会館

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講演会	<p>(目的) 景翠会金沢病院の医師を講師として呼びし、地域住民に正しい医療情報を発信・提供し病気の早期発見と予防につなげることを目的とする。</p> <p>(内容) 金沢病院と相談して開催する予定。</p>	年2回を予定。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団体交流会	<p>(目的) ケアプラザと各団体、団体同士が互いの活動を知り合い、情報交換することで地域の福祉保健活動の推進を図る。</p> <p>(内容) 貸館清掃後に団体同士の交流・情報交換の場。福祉活動拠点としてのケアプラザの役割、意義、貸館ルール等の理解をしていただく。</p>	5月30日

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
てくてく かなざわ	<p>(目的) 地域の方を対象。ウォーキングをすることでケアプラザ周辺の再発見、健康増進と参加者同士の親睦を深める。</p> <p>(内容) 区内、ケアプラザ周辺の観光スポットを金澤シティガイド協会の方の案内で歩く。解散後希望者で昼食を摂り親睦を深める。 5月：八景周辺、関東学院大学の学生食堂で昼食。 秋ごろ：未定。</p>	5月、秋ごろ 合計2回開催予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
木工クラフト	<p>(目的) 異世代交流と小中学生の地域活動の場の提供。</p> <p>(内容) 異世代交流と小中学生の交流の場を目的として、夏休みの期間にエリア内の技術のある方による竹細工や木工クラフトの講習会を開催する。乳幼児は保護者が同席することで参加可能。参加費無料。</p>	7月、8月計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レゴパーク	<p>(目的) 小学生、幼児対象事業。家庭とは違う広い場所で知育玩具「レゴブロック」を使い遊んでもらう。養育者の交流の場としても設定。</p> <p>(内容) ボランティアルームにてレゴブロックで遊ぶ。保護者同伴であれば、乳幼児も可。</p>	休館日を除く夏休み期間毎週月曜日、ほっとランチ、ケムケム座公演、子育てイベントに開催。 合計8回。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お正月 お飾り作り	<p>(目的) お正月の輪飾り製作を通して地域住民同士の交流を図っていただく。</p> <p>(内容) 街の先生に講師に依頼し、お正月のお飾りを作成する。</p>	12月

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小学生 お菓子作り	<p>(目的) 小学生対象のお菓子作り。ケアプラザへ足を運ぶきっかけ作り。</p> <p>(内容) 近隣の小学生を対象にクリスマス、バレンタイン等のお菓子を作りラッピングして持ち帰る。参加者でおやつを食べる。今年度は3回開催予定。</p>	6月17日、12月、2月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 感謝会	<p>(目的) ケアプラザでボランティア活動をしている方へ日頃の感謝の気持ちを込めて開催する。ボランティア同士の交流、情報交換の場。</p> <p>(内容) 自己紹介、ケアプラザのボランティア活動紹介、会食等。</p>	3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て フリースペース	<p>(目的) 母親同士の情報交換・交流の場としてケアプラザのボランティアルームを開放。フリースペースとして提供する。</p> <p>(内容) ボランティアルームにマットを敷き、ソフトブロック等を貸し出す。出入り自由。</p>	第四金曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケムケム座公演	<p>(目的) 過去に自主事業、区主催の子育て支援に来館していた参加者に再びケアプラザへ来館してもらう機会として地域で活動しているお芝居の団体に公演を依頼。レゴパークも同日開催。</p> <p>(内容) 7月 『まっていた てがみ』 12月 未定 対象 小学生、未就園児 定員 50名 参加費 無料</p>	7月、12月

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てイベント	<p>(目的) 六浦地区社協との共催事業。乳幼児、過去に参加していた幼児とその養育者へ再びケアプラザへ足を運んでいただくために葉書などでお誘いする。</p> <p>(内容) 地域の楽器演奏のグループに依頼予定。</p>	3月

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
会話カフェ	高齢者	96,000	72,000	24,000	0	60,000	36,000
	20名						
	100円						
あかちゃんといっしょ	乳幼児と養育者	57,000	51,000	6,000	50,116	6,884	0
	20組						
	無料～300円						
お食事会 ほっとすぺーす	高齢者	291,600	111,600	180,000	0	180,000	111,600
	25名						
	600円						
フラワーアレンジメント	高齢者	216,000	12,000	204,000	0	204,000	12,000
	17名						
	1000円～1500円						
おひさま広場	障害児者	71,457	49,857	21,600	53,457	18,000	0
	8名						
	200円～300円						
ほっとランチ	地域の方	89,092	65,092	24,000	0	80,092	9,000
	40名						
	300円						
医療講演会	地域の方	0	0	0	0	0	0
	40名						
	無料						
団体交流会	登録団体の方	7,050	0	0	0	5,000	2,050
	無料						
てくてく金沢	地域の方	18,000	18,000	0	15,000	0	3,000
	14名						
	無料						
木工クラフト	小学生又は乳幼児	9,000	9,000	0	6,000	0	3,000
	15名×2回						
	無料						
レゴパーク	小学生又は乳幼児	0	0	0	0	0	0
	12名						
	8回						
輪飾り作り	地域の方	19,819	3,819	16,000	0	17,879	2,000
	15名						
	1000円						
小学生 お菓子作り	小学生	18,000	10,800	7,200	0	18,000	0
	8名×3回						
	300円						
ボランティア感謝会	ボランティア	15,000	15,000	0	0	15,000	0
	無料						

平成29年度 自主事業収支計画書

子育てフリースペース	乳幼児と養育者	0	0	0	0	0	0
	12名						
	無料						
ケムケム座公演	乳幼児、小学生	20,000	20,000	0	11,136	0	8,864
	50名×2回						
	無料						
子育てイベント	乳幼児、小学生	9,628	9,628	0	5,568	0	4,060
	50名						
	無料						
		937,646	447,796	482,800	141,277	604,855	191,574

事業ごとに別紙に記載してください。